

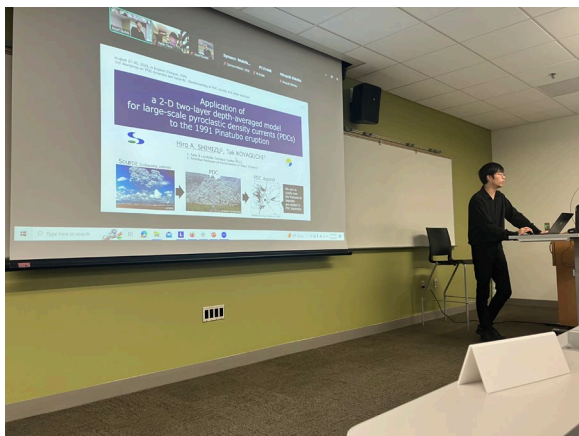
「火砕流の国際ワークショップ」に参加しました。

2024年8月27日(火)～29日(金)に、オレゴン大学(アメリカ)にて開催されました「火砕流の数値シミュレーションモデルの妥当性確認(Validation)やベンチマークテストに関する第3回国際ワークショップ」に当センターの職員が参加しました。

本ワークショップでは、これまでの研究・開発の成果として、以下の発表を行いました。

題目: Application of a 2-D two-layer depth-averaged model for large-scale pyroclastic density currents to the 1991 Pinatubo eruption

著者: 志水 宏行(砂防・地すべり技術センター 砂防技術総合研究所)・小屋口 剛博(東京大学名誉教授)



発表の様子



開催地(オレゴン大学)の様子



会場の様子 (From Prof. Ulrich Kueppers)

当センターでは、今後も自主研究や受託事業での成果等について、学会等での発表に取り組み、技術者の育成や技術力の向上に努めてまいります。